

種名	ノ ス リ												
	<u>Buteo buteo</u>												
													
分類	ワシタカ目 ワシタカ科												
特徴	顎ひげ状の黒褐色斑と優しい黒目を持つ、ずんぐりとしたタカ。脇腹にも大きな黒褐色斑がある。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯に広く繁殖する。日本でも北海道から四国にかけて繁殖し、留鳥といえるが、寒くなると寒地や高地のものの一部は暖地・低地へ移る。伊良湖岬などでは10～11月に南下する個体を見ることができる。												
生活	亜高山から平地の林に棲み、付近の荒地、川原、耕地、干拓地など開けた場所で餌をとる。ネズミなどの小形哺乳類、カエル、ヘビ、昆虫、鳥などを木の枝などにとまって待ったり、帆翔しながら探す。獲物を見つけると停空飛翔でねらいをつけ、急降下して足指の爪で捕らえる。5月頃には2～3卵を産む。抱卵日数は約30日、巣立ちまでの日数は40日位である。												
声	割合によく鳴く鳥で、繁殖期には巣の上やその付近で「ピーヨ」と優しい声で鳴く。また、飛翔中には「プイオー」と少し調子を変えた声で鳴くこともある。なお、トビの声に似た鳴き声を聞いたという記録もある。												
見分け方	飛翔中では、翼が幅広で長く尾が短いこと、翼を浅いV字形に保って帆翔すること、翼下面翼角部に黒斑があり、尾には明瞭な横斑がでないことに注意する。												
時期繁殖地	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
越冬地	(月)	1	2	3	-	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	産卵期は5月頃 全長(L) 52cm 57cm 翼開長(W)122～137cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													